認定こども園荒島の概要

（令和８年１０月１日時点）

<table>
<tr><td>施　設　名</td><td colspan="2">認定こども園荒島</td><td>施　設　の　種　類</td><td colspan="3">幼保連携型認定こども園</td></tr>
<tr><td>所　在　地</td><td colspan="2">荒島町３５０８</td><td>電　話　番　号</td><td colspan="3">０８５４－２８－８４１６</td></tr>
<tr><td>受　入　年　齢</td><td colspan="2">１歳児～</td><td>設　置　者</td><td colspan="3">安来市</td></tr>
<tr><td>利　用　定　員</td><td>１　号
認　定</td><td>５名</td><td>２・３号
認　定</td><td>４５名</td><td>合　計</td><td>５０名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">入所児童数</td><td>０歳児</td><td>１歳児</td><td>２歳児</td><td>３歳児</td><td>４歳児</td><td>５歳児</td><td>合　計</td></tr>
<tr><td>－</td><td>６名</td><td>７名</td><td>８名</td><td>１２名</td><td>１１名</td><td>４４名</td></tr>
<tr><td>開　所　時　間</td><td colspan="6">７：００～１９：００</td></tr>
<tr><td>教育標準時間
（１号認定）</td><td colspan="6">８：３０～１４：００</td></tr>
<tr><td>保育標準時間
（２・３号認定）</td><td colspan="6">７：００～１８：００</td></tr>
<tr><td>保育短時間
（２・３号認定）</td><td colspan="6">８：３０～１６：３０</td></tr>
<tr><td>実　施　事　業</td><td colspan="6">☑延長保育　☑預かり保育　□一時預かり　□休日保育　□病後児保育</td></tr>
<tr><td>職　員　配　置</td><td colspan="6">園長１名、保育教諭１０名、調理員２名</td></tr>
<tr><td>施設の概要</td><td colspan="6">鉄筋コンクリート造平屋建て、園舎面積 1177.25 ㎡、園庭面積 2560.00 ㎡、
乳児室面積 60.00 ㎡、ほふく室面積 0.00 ㎡、保育室面積 364.00 ㎡、
遊戯室面積 216.00 ㎡、敷地面積 4864.00 ㎡</td></tr>
<tr><td>保　育　料</td><td colspan="6">安来市が市民税額等に応じて決定した利用者負担額</td></tr>
<tr><td>利用者負担、
その他の費用</td><td colspan="6">延長保育料（２・３号）　１００円／３０分
預かり保育料（１号）　２００円／１時間
保育用品　年額３，０００円程度
給食費（１号副食費）月額３，５００円（おやつ代は別途）
給食費（２号副食費）月額４，９００円（おやつ代含む）
保護者会費　月額５００円
行事等にかかる費用は実費</td></tr>
<tr><td>教育理念
保育方針
保育内容等</td><td colspan="6">【教育・保育方針】
〇健康で安全な生活を送ることができるように生活習慣や態度を身につける。
〇自分の思いや考えを表現できる力を育むと共に相手の個性や違いを
　受け入れ大切にできる力を育てる。
〇保護者の意向を理解･受容し、様々な機会を捉えて適切に援助する。</td></tr>
</table>

施　設　の　Ｐ　Ｒ	市内の最西側に位置し、近くには国道９号、山陰本線荒島駅も近く交通の便は非常に良い位置に設置しています。また、豊かな自然に囲まれるとともに、古代王陵の丘にも近く、頂上から望む中海周域は目をみはるものがあります。 本園は幼稚園、保育所を統合し、認定こども園として就学前の教育・保育を一体的に行っています。 １歳児から就学前の子ども達が、心を通わせる教育・保育のあり方 、職員間の連携・協働の元で安全に留意しながらクラスを行き来し、子ども達の自然な交流を大切に支える交流内容・方法に心がけています。 また、下記の教育推進も重点を置きながら、教育・保育を進めています。 ① ふるさと教育の推進 ・長寿会、童話のサークルの方々をはじめ地域の「人・物・自然」に触れ合いながら、ふるさとやそこで暮らす人々に親しみを持つ心を育む。 荒島踊りなどの郷土の文化芸能を体験し、地域の方々と共に楽しむ。 ② 食を大切にする ・給食を通して「食べる」ことの大切さを知らせ、子ども達にとって現在、将来にわたって活きてくる活動の推進。 ・子ども達と栽培した野菜の収穫や近隣の山、畑で採らせて頂いた自然物（梅の実、たけのこなど）を自分たちの手で調理し食する喜びを味わう活動の推進。 ③ インクルーシブシステムを取り入れた教育・保育 それぞれの違いや個性を認め合い、支え、育ち合う保育を目指しています。

＜施設の写真＞

施設全景	
園庭	
保育室	